

平成 29 年度一般財団法人宮城県社会保険協会 事業報告

平成 29 年度における本会事業は、役員皆様方を始め、各年金事務所及び協会けんぽ宮城支部等のご協力により、当初に策定した事業計画に基づき、社会保険制度の普及発展及び事業の円滑な運営に資するとともに、被保険者等に対する健康の保持増進事業及び生きがい対策事業等を積極的に推進し、福利の向上に寄与することができました。

主な事業実施内容は次のとおりです。

1. 会議の開催

名 称	実 施 日	議 題	備 考
理 事 会 評議員会	平成 29 年 6 月 20 日	1. 平成 28 年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会事業報告 2. 平成 28 年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会収支決算(案) 3. 理事選任等について 4. 公益目的支出計画実施報告について	ホテルメトロ ポリタン仙台
理 事 会 評議員会	平成 30 年 3 月 12 日	1. 平成 30 年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会事業計画(案) 2. 平成 30 年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会収支予算(案)	仙台勝山館
機関誌 編集会議	1. 平成 30 年 2 月 15 日 2. 隔月開催	1. 平成 30 年度広報計画策定会議 (各年金事務所、協会けんぽ) 2. 機関誌発行のための編集会議	仙台東 年金事務所

2. 広 報

- (1) 機関誌「社会保険みやぎ」を、各年金事務所及び協会けんぽ宮城支部の協力を得て編集発行し、隔月会員事業所に配布した。

年間発行部数 86,610部

主な編集内容

- ① 年金保険制度の解説と事務手続き
- ② 健康保険制度の解説と事務手続き
- ③ 健康保険の財政状況、ジェネリック医薬品の普及推進
- ④ 生活習慣病予防健診・特定健診の受診勧奨、特定保健指導の活用
- ⑤ 職場におけるメンタルヘルス対策等について
- ⑥ 制度解説シリーズ：漫画「M美さんの社会保険物語」
- ⑦ 簡単なおつまみのレシピ紹介
- ⑧ 健康づくり事業の案内
- ⑨ その他本会事業に関するお知らせ

- (2) チラシによる広報

- ① 社会保険ファミリースキースクール開催の広報
- ② 仙台うみの杜水族館等施設割引利用券

- (3) ホームページによる広報

当協会ホームページにおいて、協会のご案内のほか普及宣伝事業、福利増進事業、年金出張相談日程等について掲載した。

3. 調査研究

- (1) 社会保険制度の普及発展及び事業の円滑な運営に資するための調査研究を行い事業の円滑化に寄与した。
- (2) 健康づくり事業を効果的に推進するための研究、検討を行った。

4. 実施事業

- (1) 講習会等の開催及び参考図書への配付

- ① 新任担当者等事務講習会

事業所の新任事務担当者等を対象に、社会保険制度のしくみや事務手続等についての講習会を開催した。(7～8月 5会場 参加者 199名)

- ② 年金シニアライフセミナー

事業所の退職予定者等を対象に、定年退職後の豊かで健康的な生きがいのあるシニアライフを過ごしていただくためのセミナーを開催した。

(10月 4会場 参加者 318名)

- ③ 社会保険の事務手続きのためのテキストの配布

年金事務所が開催する算定基礎届事務講習会時期に合わせ会員事業所に対し、社会保険の事務手続きの参考図書を送付した。また新規加入事業所にも送付した。(5月ほか 送付数 11,500部)

(2) 健康づくり事業

職場における健康づくりの推進について、機関誌等による広報を行った。

① 健康づくり指導講習会・健康相談

事業名	回数	人員
(1) 保健師による講習	0回	0名
(2) 体育専門家による講習	9回	299名
(3) 管理栄養士による講習	3回	96名
(4) 専門家による実技指導講習	0回	0名
合計	12回	395名
(5) 健康づくりDVDの貸出し	4本	138名

② 健康づくり事業の実施

(ア) 春・秋のハイキング

春 — 6月に2地区で実施 参加者 113名
秋 — 10月に3地区で実施 参加者 130名

(イ) 第13回ハゼ釣り大会

期日 平成29年10月9日・15日
ところ 松島湾内
参加者 115名

(ウ) 第28回ファミリースキースクール

期日 平成30年2月25日
ところ スプリングバレー泉高原スキー場
参加者 86名

(3) 契約宿泊施設の宿泊料金の補助

社会保険協会加入事業所の被保険者及び被扶養者を対象に、契約宿泊施設に宿泊した場合割引補助を行った。

契約3施設 「秋保の郷ばんじ家」、「鳴子やすらぎ荘」
新潟県瀬波温泉「松風荘」

利用者 28名

(4) 施設優待事業等について

「仙台うみの杜水族館」と施設利用割引に関する契約を交わし、会員事業所の従業員等の福利厚生の上をを図った。

また、全社連の行う宿泊施設等の優待事業について、及び宮城県社会保険協会が独自に契約した施設の優待利用について周知広報を行った

5. 社会保険委員会連合会との連携協力

事業所における被保険者の指導・相談業務は、年金委員・健康保険委員の活動に負うところが極めて大きいため、社会保険委員連合会との連携を密にして円滑なる運営を図った。